

特定非営利活動法人  
宇都宮まちづくり市民工房

## 2023（令和 5）年度通常総会（第 19 回）

資料 1    2022（令和 4）年度事業報告                      ・ ・ ・ p.2

総会

日時：2023 年 5 月 29 日（月）18:30～

場所：宇都宮市まちづくりセンター

## II. 2022（令和4）年度 宇都宮まちづくり市民工房 事業報告

2022 年度通常総会で承認された 2022 年度事業は以下の通りである。下線は未実施。

|                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>II-1.</b><br/>コミュニティ<br/>活性化事業の支援<br/>定款⑤</p>           | <p>1) “とちぎの農村”関係人口創出・拡大事業<br/>～農村ファン活躍支援モデル創出事業～<br/>・継続モデル地区：那須塩原市中塩原<br/>・新規モデル地区の開拓</p> <p>2) 日光市三依交流プロジェクト<br/>(1) 耕作放棄地（清水原）の活用 ほか</p>                                                                                                                            |
| <p><b>II-2.</b><br/>市民活動の人材<br/>育成<br/>定款⑥</p>                | <p>1) 非営利活動団体（NPO）の組織基盤強化<br/>(1) NPO 法人事務力アップセミナー／<br/>NPO 法人事務力検定初級<br/>(2) <u>オンライン会議／WEB セミナー入門・基礎・<br/>実践講座</u></p> <p>2) NPO 組織の実務向上事業<br/>(1) 実務担当者向け研修会の定期開催</p> <p>3) NPO への伴走支援事業<br/>(1) コミュニティ組織支援<br/>(2) 自治会支援</p> <p>4) ボランティアコーディネーション力検定<br/>受付事務</p> |
| <p><b>II-3.</b><br/>市民活動に関する<br/>調査研究および<br/>政策提言<br/>定款④</p> | <p>1) 共助社会研究会<br/>(1) 高齢者サロンおよび居住支援法人についての<br/>調査研究<br/>(2) 工房サロン プレ企画</p>                                                                                                                                                                                             |
| <p><b>II-4.</b><br/>まちづくり支援<br/>定款⑦</p>                       | <p>1) 宇都宮市まちづくりセンターの管理運営</p>                                                                                                                                                                                                                                           |

## II-1. コミュニティ活性化事業の支援（定款⑤）

### 1) “とちぎの農村”関係人口創出・拡大事業

～農村ファン活躍支援モデル創出事業～ 栃木県委託（1,166 千円）（3 年目）

<事業の対象とねらい>

- ・対 象：中山間地の活性化に自律的に取り組む団体と、その活動に関心をもつ地域外の  
人々＝農村ファン
- ・ねらい：両者の接点を作り、「関係人口注）」として地域と関わりをもつ農村ファンを増  
やし、新たな視点を取り込んだ活性化を実現する。

<実施したこと>

1. モデル地区：那須塩原市塩原地区 支援団体：一般社団法人青空プロジェクト THE DAY  
年度初めに作成した事業計画に基づき、以下の支援を実施した。

#### 1) 自立・継続

##### ①法人化支援

###### ★一般社団法人青空プロジェクト THE DAY 設立支援

支援先団体の継続的な活動と地域住民および農村ファンからの信頼獲得のため、法人化を進めることになった。市民工房では、一社設立とその後の団体運営について支援を実施した。

##### ②法人の情報発信強化

###### ★法人WEBサイトの運用と栃木県ポータルサイト「TUNAGU」の活用

多岐にわたる法人の活動を体系的に発信するため、2021 年度に構築支援したWEBサイトの本格運用を開始した。またTUNAGUへの掲載支援を通して、法人の活動紹介と農村ファン募集を定期的に行った。

##### ③地域住民との関係強化

★活動の継続と発展のためには、地域住民の理解と協力が欠かせない。市民工房では活動紹介のリーフレット作成等の支援を行ってきたが、2022 年度は団体と協力して、地域住民対象に防災講座を実施した（11 月 8 日：塩原温泉畑下（はたおり）地区）。また団体独自の活動として、「THE DAY通信」を発行し、新聞折り込みで住民にお届けしている。

##### ④活動資金の確保

各種助成金への申請支援により、来年度の資金を確保した。

### 2) 農村ファン創出・拡大

#### ①古道整備

引き続き、古道整備活動の支援を行った。2022 年度は新たなコース開拓も含めて 4 月から 3 月にかけて計 12 回活動し、農村ファン延べ 31 名が参加した。3 年間の活動の成果として、対象エリア内で各ルートがつながり、面としての活用が見えてきた。



## ②耕作放棄地の活用

地域内で増加する耕作放棄地を、菜の花畑やソバ畑として再生し、景観整備、野生鳥獣とのすみ分け、6次産業への進展そして地域住民の参画機会創出に取り組んできた。

協働支援として、a)戦場での子どもの遊び場整備、b) TUNAGU参加者と大学生リポーターによる農業体験、ヒアリン

グを行った（【青空プロジェクト THE DAY】新たな里山づくりを体験しよう」  
<https://tochigi-tunagu.jp/archives/2567>）。



## 3) 横展開

### ①6次産業化

支援先団体の活動として、耕作放棄地でのそば栽培から刈り取り、製粉化に取り組んでいる。2022年度は「令和4年度魅力ある中山間地域づくり事業補助金」を活用（市民工房支援）し、そば粉乾燥機及び製粉機を購入し、地域住民の協力のもと、しおばら育ちのそば粉「たおやめ」「ますらお」を販売した。

## 2. 相談

主だった相談は下記2件であった。

### 1) 佐野市野上地区「野上地区を考える会」（NPO法人自然史データバンクアニマnetと共同）

10月4日野上基幹集落センターで聞き取りを行った。（アニマnetがモデル地区として担当することになった）。

### 2) 大田原市「木ねずみ倶楽部」（NPO法人トチギ環境未来基地と共同）

5月10日聞き取り調査、6月28日現地活動実施。先方の都合によりモデル地区選定には至らなかった。

### <今後の活動について>

青空プロジェクトとの協働活動は今後も継続する（来年度の事業計画を策定中）。農村ファン拡大創出事業は、2022年度をもって終了となるが、その後継事業へのプロポーザルを行った。



## 2) 日光市三依交流プロジェクト 2007年12月にスタートして15年目

### <事業の対象とねらい>

- ・対 象：自然と共存した暮らしや農業に関心のある都市部住民および三依地区の住民
- ・ねらい：①農作業を通じた自然との関わり方、②地域における支え合いや近所付き合いの現場を学びながら、都市部の地域課題について考える機会を提供する。

### <実施したこと>

#### (1) 遊休地（清水原）の活用

電気柵完備の清水原農場を使わせていただいている。コロナの影響で、6月種まき、7月定植、9月ネット除去時にのみボランティアに参加いただいた。活動期間は6月から11月で、作業日は25日（うち1日は宇都宮）、延べ31名（2020年度は19日、25名）の参加であった。

ブロッコリー、キャベツと大根の栽培に取り組んだ。7月から8月にかけて天候不順なため、薬剤散布ができずブロッコリーとキャベツは、害虫被害に悩まされた。それでも各々70



個、15個収穫できた。ただ（品質の問題で法人内消費となった。大根は鳥・シカ食害によ



り収穫できなかった。昨年から、電気柵を破ってのシカの侵入が続いており、何らかの対策が必要になっている。

### <今後の活動について>

2022年度も新型コロナウイルスの感染が続いたため、横川集落の方々との交流はできなかったが、清水原での作業のつど、自治会長と情報交換を行いながら活動を進めてきた。

キャベツ、ブロッコリー、大根等の栽培を継続予定で、ボランティアを募って現地作業および地域住民との交流を再開したい。

## II-2. 市民活動の人材育成 （定款⑥）

第2期中期計画（対象年度 2018 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）において、

「私たちは、中間支援組織として市民社会における役割をより強化していきます。その機能として、ドゥタンクやシンクタンクを位置づけ、さらに事業を通じて構築した関係性すなわちネットワークを発展させていきます。」（参考資料 1）。

と謳っている。そして具体的な事業の方向性として以下の 3 つの柱を掲げた。

1. 人材育成
2. 伴走支援
3. 調査研究

この中期計画に基づき、2019 年度からの中間支援機能としての事業計画案を以下策定しており、毎年度事業を企画実施している。

### 1) 非営利活動団体（NPO）の組織基盤強化

#### （1）NPO 事務力セミナー&検定 in 栃木

<事業の対象とねらい>

- ・対 象：NPO 法人の事務担当者、これから NPO 法人を設立しようと考えている方など
- ・ねらい：NPO 法人の組織運営に携わる者が、必要な事務手続きの全体像とその詳細を正確に把握し事務能力を向上させることを目的とする。

<実施したこと>

- ・主 催：全国 NPO 事務支援カンファレンス
- ・共 催：NPO 法人とちぎ協働デザインリーグ
- ・日 時：1 月 27 日（金）セミナー 10:00～15:30  
／検定 15:45～17:15
- ・会 場：栃木会場／こらぼワーク本部  
（企業組合とちぎ労働福祉事業団）
- ・参加者：セミナー 5 団体 6 名  
検定 3 団体 4 名



#### （2）日本ボランティアコーディネーター3級検定事務 JVCA 委託（760 千円）

東京、大阪で実施したボランティアコーディネーション力 3 級検定受付事務を受託した。

2022 年度受験者は次の通り。

- ・主催検定 6 月：69 名（前年度 33 名）東京・栃木で実施
- ・主催検定 7 月：43 名 大阪で実施
- ・主催検定 12 月：112 名 全国 4 会場で実施
- ・共催検定：134 名 全国 5 会場で実施

⇒計 358 名（344 名）

## 2) NPO 組織の実務向上事業

### (1) 会計汎用ソフト説明会&講習会

#### <事業の対象とねらい>

宇都宮市は会計汎用ソフト（主に自治会向け）を作成し、市の Web サイトからダウンロードできるようにするなど、その普及に努めている。年度末を控えて、多くの団体にその存在と活用方法を知っていただくことを目的に、座学だけでなく参加者各自がノート PC を持参のうえ実践する説明会と講習会を開催した。

#### <実施したこと>

- ・主 催：宇都宮市まちづくりセンター
- ・共 催：NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房
- ・協 力：みんなでまちづくり課
- ・日 時：2 月 27 日（月）18:30～20:30
- ・会 場：宇都宮市東市民活動センター
- ・講師：みんなでまちづくり課職員  
+ まちぴあスタッフ（鈴木里恋氏）
- ・参加者：24 名



講習会では、講師のほかに、3 名が会場スタッフとして実務支援にあたったが、ソフトの解凍方法や設計趣旨まで幅広い質問が寄せられた。

## 3) NPO への伴走型支援事業

### (1) 地域コミュニティ組織への支援

#### (1-1) まちづくり協議会の先進取り組み事例の現地見学ならびに伴走支援

栃木県コミュニティ協会委託（230 千円）

#### <事業の対象とねらい>

- ・対 象：主なものとして、県内コミュニティ組織（自治会、コミュニティ協議会など）
- ・ねらい：まちづくり協議会の先進取り組み事例を取材し、その活動の紹介を通して他の地域への広がりの後押しする（現地見学）とともに、活動に悩みを感じている団体への伴走支援を行う。

#### <実施したこと>

##### ①実践者による事例紹介およびまちあるき

先進事例報告：宇都宮市河内地区まちづくり協議会

- ・日 時：1 月 18 日（水）13:00～16:00
- ・場 所：宇都宮市河内地区市民センター・河内白沢宿
- ・参加者：10 名



古里中学校、まちづくり協議会、地区市民センターの 3 者協働による「河内地区ガイドマップ」「ガイドブック」の作成、「いきいき河内発見講座」での中学生による発表会開



催など、地域と学校が協力した取り組み、特に中学生が実際に校外でまちあるきをして、さらに講座で発表するなど、が先進的であると、参加者からも多くの質問が寄せられた。



## ②地域団体が直面している「デジタル化」についての伴走型支援：

佐野市旗川地区 旗川まちづくり協議会

第1回打ち合わせ 1月12日(木) 旗川地区会長と現状について  
意見交換

第2回打ち合わせ 1月30日(月) 10:30~11:40 @旗川公民館 役員4名を交えて、デジタル化の具体例(Zoom、LINE活用)を紹介しながら、さらにはまち協の運営全般についても話し合った。高齢化が進み、日程調整や各種連絡が難しくなる中、デジタル化による簡便化を図ろうとしても、次の世代へのバトンタッチが進まず(どの世代もゆとりがない)苦勞しているとのことであった。今後、LINEグループの作成・運用等を実施する際にはお手伝いすることになっている。



## (1-2) 「宇都宮市自治会元気アップ研修会」 宇都宮市自治会連合会委託(900千円)

<事業の対象とねらい>

- ・対象：主な対象は、宇都宮市内で自治会活動に関わっている役員
- ・ねらい：多くの自治会は、コロナ禍で事業縮小を余儀なくされておりその存在意義を問われていると同時に、感染が収束したのちの活動再開にも不安を感じている。そこで講演会とワークショップを通して、after/with コロナを見すえた令和の自治会について学ぶことを目的とする。

<実施したこと>

①事業内容：昨年度は1回のみの開催であったが、2022年度は多くの自治会関係者に参加していただくべく、市内3か所で開催した。講師には、株式会社GlocalDesign代表取締役の酒本宏氏をお願いし、1・2回目はオンライン、3回目は現場で講演、さらに自治長大会でもオンラインにてご講演いただいた。

講演後のワークショップは、テーマ①「with コロナにおける自治会活動の課題と工夫していること」、テーマ②「with コロナの時代に求められる自治会の運営について」、の2つを議論した。



## ②日程、参加者

第1回 日時 9月29日(木) 13:30~16:30

会場 瑞穂野地区市民センター ホール1・2

対象 主に南部ブロック所属自治会の方 26名参加

第2回 日時 10月20日(木) 13:30~16:30

会場 東市民活動センター 2階ホール

対象 主に東部・北部ブロック所属自治会の方 40名参加

第3回 日時 12月18日(日) 13:00~16:00

会場 宇都宮市役所14階大会議室

対象 主に中央・西部ブロック所属自治会の方 39名参加

## ③酒本氏の講演会 「これからの時代にふさわしい自治会とは何か」

自治会の課題 高齢者による高齢者のための自治会に陥っていないか？

- 1) 担い手不足：高齢化やライフスタイル・価値観の多様化といった社会的要因と、役員の負担大きい、閉鎖的、ニーズとの乖離、情報発信・広報不足といった運営的要因がある。後者の改善が必要。

① 役員の負担軽減：ICTの活用

② 閉鎖的印象：役員の固定化、男女比率、高齢者だけ・・・任期制、輪番制(重複)  
各世代からの役員登用、役員マニュアルの作成など

③ ニーズとの乖離：アンケート実施、事業の棚卸

④ 情報発信：回覧板は読まれていない！（特に若い世代）

- 2) 自治会は地域のコーディネーター

子育て、防災防犯、空き家・空地活用・・・地域の価値を高める

## ④ワークショップ

### ★第1回研修会

第二部は5グループに分かれてWSを行った。

宇都宮大学地域デザインセンターとの共同事業で、学生5

名がワークショップ進行補助として参加した。70代が多い

参加者(自治会長)と意見交換が進み、お互いにとって有意義な機会となった。大学とのつながり(例：宇大地域デザインセンターとの連携でICT活用講座を大学生に担ってもらう、など)、さらにアパートなどの集合住宅への声かけ、チラシ配布の際、チラシにLINE公式アカウントのQRコードを付けておく、といったアイデアも出された。



### ★第2回研修会

第二部は7グループに分かれてWSを行った。そのうち4グループには宇大生が書記役で加わった。

今回も参加者の約7割が70代で、自治会活動への若い世代の参画（担い手としても）が深刻な課題として挙げられた。SNS活用が望まれるが、一方でその手段を使って何を発信するのかを考える必要がある、という意見も出た。イベント開催だけが自治会の役目ではないはず、この時期だからこそ、これから求められる自治会とは何かを議論する必要があることが共有できた。



### ★第3回研修会

第二部は8グループに分かれてWSを行った。そのうち2グループには宇大生が書記役で加わった。

LINE公式アカウントの立ち上げやアンケート調査の実施、電子回覧板の併用などに取り組みたい、という意見が多く出された。

一方で、それぞれの自治会が置かれている現状は、10数世帯で構成される自治会、高齢者のみで子どもがいない自治会、など様々であることも改めて明らかとなった。環境が似通った自治会同士が課題を持ち寄り話し合う場を設けることで、横のつながりを作ることとは可能である。

十分な引継ぎもなく、あるいは急遽役員を引き受けることになったという例も多く、何もわからないまま悩んでいる方々にとって、他の自治会の事例を知り、意見交換する機会は貴重なものであったと考える。



#### ⑤令和4年度宇都宮市自治会連合会 自治会長大会

上記3回の研修会とは別に、自治会長大会においても表彰式後に、酒本氏によるオンライン講座を開催した。

11月26日（土）14：00～15：50@宇都宮市役所14階大会議室 出席者100名



#### <まとめ>

3回の研修会と自治会長大会を通して、200名以上の方に講演を聞いていただき、そのうち約半数が意見交換に参加して下さった。講演を聞き、また他の自治会の現状を知ることによって、たとえば、公式LINEアカウントによる情報発信、電子回覧板の併用、住民ニーズ把握のためのアンケート実施、若い世代を取り込むために子育て世代や子どもたちを対象とした事業の導入など、今後の組織運営に関してヒントを得た方も多くいらっしゃったと思う。

WSの中で、SNSの活用は確かに必要ではあるが、あくまでも手段であり、何を発信するかが重要だ、という意見があったが、まさにその通りだと感じた。現状は、その手段を整備するところから始まるわけだが、「高齢者による高齢者のための自治会」から脱却するためにどんな事業をすべきかを、議論できる開かれた組織が求められている。

また、自治会の状況がさまざまであることも再認識できた。「子どもや子育て世代を対象とした事業」といっても、会員数が10世帯、子どももいない高齢者ばかり、という自治会もあり、対応できない。こうした自治会では、未来像を考えることは難しく、最終的には自治会の再編が避けられないにせよ、同じ悩みを抱える自治会同士が現状の意見交換をできる場は必要なのだと実感した。

令和3年度、4年度と自治会役員を対象にした研修会を実施してきた。多くの方々に出席いただけたことで、2年間の事業の目的は達成できたのではないかと考える。

今後は、ここで得られた知見をもとに、「SNSの活用」「役員マニュアル作成」「事業の棚卸し」「住民アンケートの実施」といった個々のテーマについて、個別の勉強会を開催しながら、コミュニティの価値を高めることができる自治会への一步を後押しすることも必要だと考える。



### (1-3) 「大学生による自治会活動応援事業」

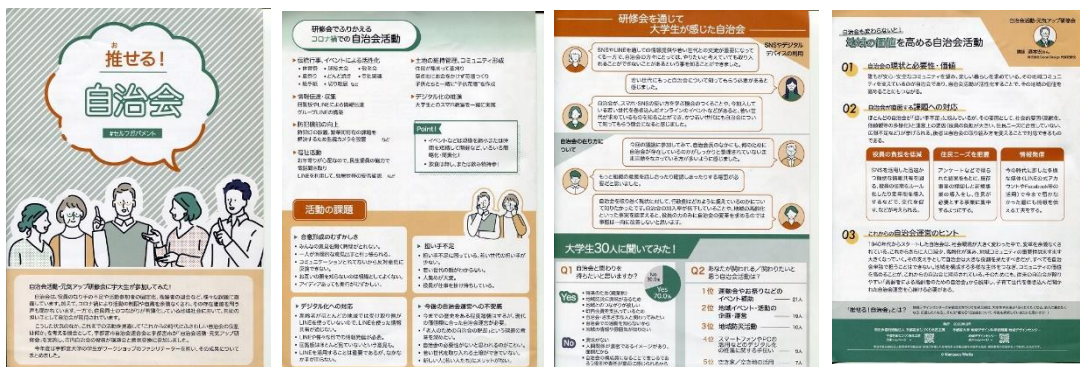
社会福祉法人栃木県共同募金会「地域に密着した多様な生活支援活動を応援する助成（200 千円）」助成事業

#### <事業の対象とねらい>

- ・上記元気アップ研修会に、大学生がファシリテーターとして参加し、日ごろ自治会活動から縁遠いと思われがちな大学生が、その活動実態を知り、かかわるきっかけとなることを目指す。

#### <実施したこと>

1. 3 回の元気アップ研修会に複数の宇都宮大学生がファシリテーターとして参加。
2. 研修会に参加した学生たちによる研修会に参加しての感想や意見をリーフレット「推せる！自治会」として発行、宇自連を通して全単位自治会長に配布（2023 年 6 月予定）することになった。
3. 学生 2 名がミヤラジ「地域もりあげ隊」に出演予定。2023 年 5 月 17 日（土）17 時～



## II-3. 市民活動に関する調査研究および政策提言（定款④）

### 1) 共助社会研究会

#### (1) 高齢者サロンおよび居住支援法人についての調査研究

こらぼワーク委託事業（528 千円）

こらぼワークと「地域福祉活動に関する調査研究」業務委託契約を交わし、主に、住宅確保要配慮者を対象とする居住支援法人について、共同で調査を行った。

#### <実施したこと>

- ・ 8 月 10 日 今後の進め方、居住支援法人についての基本調査実施の件で打ち合わせ
- ・ 9 月 1 日 第 1 回居住支援研究会 居住支援法人を中心に、国土交通省のセーフティネットワーク制度についての調査結果共有
- ・ 10 月 6 日 第 2 回居住支援研究会 県内および近隣自治体の居住支援法人の活動状況、家賃債務保証業者・不動産業者との連携、厚生労働省の居住支援について調査結果共有。
- ・ 11 月 24 日 第 3 回居住支援研究会 県外視察ならびに具体的な支援事例の研究について



- ・2月3日 こらぼ学習会「ワーカーズコープちばの生活困窮者支援事業に学ぶ」
- ・3月9日 居住支援法人について、県内外各1団体の事業詳細を調査、スタッフ間で結果を共有

今後、具体的に事業計画および予算案を作成して、実現に向けた議論を進める。

ほかに保育園整備に関する意見交換会に出席（9月8日、29日、11月15日）

## （2）市民工房サロン

### <事業の対象とねらい>

新型コロナウイルス感染症拡大のため中断していた「工房サロン」の再開に向けて、検討を始めた。コロナ禍で途切れた会員同士の交流の場、さらに新規会員獲得と新たな事業へのきっかけづくりを目的に、市内外の会場での開催を企画、年内に「プレ開催」として以下を実施した。

工房サロン 2022年度プレ開催。

日時：2022年11月18日（金）18：30～20：30

場所：武蔵工務店 FutaaraBase

内容：陣内雄次先生をゲストにお招きしてSDGsほか自由テーマでお話をお聞きした。

参加費：会員1,000円/人

参加者：5名

2023年度には、県内各地で四半期ベースでの開催を予定している。



## II-4. まちづくり支援 (定款⑦)

### 1) 宇都宮市まちづくりセンター

2022 (令和 4) 年度事業報告書 概要版



宇都宮市  
まちづくりセンター  
まちぴあ

### 1. 活動場所等の提供 および 2. ネットワーキング

#### 1) 2022 (令和 4) 年度の利用状況および情報発信 ( ) 内は前年度

| 利用者                      | 相談                         | 研修室利用                                          | ミーティング 利用          |
|--------------------------|----------------------------|------------------------------------------------|--------------------|
| 1,200 人/月<br>(1,024 人/月) | 41 件/月<br>(35 件/月)         | 1,288 団体/年: 占有率 55%*<br>(1,091 団体: 占有率 51%)    | 332 回/年<br>(238 回) |
| HP アクセス                  | ブログアクセス                    | 団体登録 (累計)                                      | 情報誌                |
| 4,485 件/月<br>(4,101 件/月) | 42,263 件/月<br>(41,845 件/月) | 214 団体: 新規 28、継続 186<br>(213 団体: 新規 25、継続 188) | 年 4 回<br>3,000 部   |
| 貸しオフィス                   |                            | ロッカー                                           |                    |
| 11 団体が 11 区画に入居          |                            | 大 11 ・小 24 (残 24)                              |                    |

\*キャンセル前 74%

他に情報展示室利用団体 48 団体 (24 団体)

#### 2) 交流事業の企画運営 (下線は 2022 年度新規事業)

- ①まちぴあぶちまつり 9 月 19 日に、高校生ボランティアと協力し、地域の子ども達を対象にした交流イベントを実施した。参加人数: 53 名 ボランティア: 8 名
- ②フェスタ my 宇都宮「まちぴあひろば」2022 年 5 月 22 日 (日) 感染対策を講じ、まちぴあを含む 10 団体が参加した。
- ③あそび初め 2023 年 1 月 22 日に、「影絵光」と協力し、影絵劇上映会を実施した。
- ④まちぴあオフィス意見交換会 年 4 回実施した。「まちぴあ勉強会」とも連携し、入居団体が講師役を担当するコラボ回を 2 回開催した。のべ参加者: 42 名
- ⑤まちぴあ協力事業 協力申請 (取材依頼) 3 団体を対象に HP、ブログで発信した。
- ⑥まちぴあオープンデー 感染症の影響で減少した施設利用、団体活動の回復を目的に、登録団体と連携しイベントを年 6 回実施した。延べ参加者: 93 名。

#### 3) 活動主体間の相互理解促進のための企画

- ①ボランティア体験プログラム「釜川コケ落とし大作戦」6 回実施、総参加者: 174 人。  
釜川じゃぶじゃぶ池周辺の中央地区の美化活動を実施した。
- ②ボランティア体験プログラム「クリーン&ウオーク」8 回実施、総参加者: 133 人。国体会場や城址公園周辺など、まちぴあ周辺以外の地域でも実施できた。
- ③体験プログラム「いつでもクリーンウオーク」4 回実施、総参加者: 15 名。定例開催時に参加できない学生等活動希望者に対応できた。
- ④ボランティア体験プログラム「地域編」高校生等若者を対象に、今泉地区の地縁組織の行事に参加する体験事業を行った。中止になった活動については、代替企画 (水遊び、ぶちまつり) を学生と行い、地域の子ども達と交流した。ボランティア参加者: 20 名。
- ⑤まちぴあ勉強会 まちづくり活動に関心のある市民や団体に、活動に役立つ学びを提供することを目的に年 6 回開催し、74 人が参加した。

### 3. データバンク・調査研究

- 1) データバンク「マッチングシステム」全登録団体の情報を掲載、さらに 93 団体からの活動報告書を「まちびあアーカイブ 団体活動報告」に掲載。
- 2) 団体活動取材 令和 4 年度市民活動助成金交付 16 団体を対象に団体樹材及びブログ記事掲載をおこなった。
- 3) 調査研究事業 防災と多文化共生を具体的なテーマとして調査事業を行った。市生涯学習センターと共催で防災講座を実施（11 月 19 日、27 日）した他、登録団 TABUWATA が実施した峰地区の防災視点の街歩きを取材した。

### 4. NP0 法人等設立・運営支援

- 1) 相談対応 月平均 41 件（年間 498 件）の相談があった。

### 5. 事業支援

- 1) 宇都宮市市民活動助成金事業 審査会（6 月 4 日：17 団体へ交付決定）運営を支援し、2023 年 1 月 24 日に令和 5 年度分の説明会を行った。参加者数：8 名。
- 2) NP0 等を対象にした助成金説明会 赤い羽根等の民間助成金の説明会を 9 月 19 日に、ぽぽらにて開催。県内 5 センターと連携し、サテライト実施した。参加者数：25 名。
- 3) 事務局おたすけ講座（連続講座） 法人設立、会計、広報、資金調達の 4 回講座を 11 月中に開催し、延べ 7 人が受講した。感染症の影響もあり後日個別対応も実施。
- 4) 市民工房との連携事業 市民工房並びに、みんなまち課と連携し地域活動団体向けの会計ソフト体験学習会を実施した。参加数：28 名（自治会：13、NP0：3、行政：3 名）
- 5) 活動再開支援事業 活動再開を目指す地域活動団体からの相談に対応する。築瀬地区（民生委員）、河内地区（育成会）の 2 件に対応し、交流イベントの提案を行った。

### 6. 人材育成

- 1) プチ起業立ち上げ講座 コミュニティビジネスの手法を活かしたの組織・事業づくり講座（全 3 回）を開催した。参加者数：61 名。
- 2) まちづくり応援事業 「まちづくり活動応援事業」の活用を促進するための相談対応を実施した。
- 3) 外部組織との連携 2023 年 3 月 8 日に中央生涯学習センター主催職員対象講座にて、センター長がボランティア募集等講話を行った。（中央 8 地区がオンライン参加）

### 7. 財政状況 （千円）

|         | 収入     | 支出     | 消耗品備品費 | 1,172 | 1,146 |
|---------|--------|--------|--------|-------|-------|
|         | 29,100 | 27,914 | 謝金     | 297   | 156   |
| 支出内訳    | 予算     | 決算     | 通信運搬費  | 417   | 357   |
| 人件費     | 19,190 | 18,946 | 印刷製本費  | 890   | 879   |
| 委託費/賃借料 | 3,241  | 3,093  | 公租公課   | 1,332 | 1,324 |
| 光熱水費    | 1,380  | 1,379  | その他    | 10    | 0     |

## II-5. その他

### 1) 市民工房推薦による外部委員

- (1) 宇都宮市社会福祉協議会「地域福祉事業運営委員会」委員（継続）  
土崎雄祐 常務理事 任期 令和3年6月～令和5年6月定時評議委員会
- (2) とちぎ協働アドバイザー（継続）  
安藤正知 理事長 任期 令和5年4月1日～令和6年3月31日  
（岩井理事、土崎常務理事は別団体で就任）
- (3) 小山市市民活動センター運営調整会議（継続）  
安藤正知 理事長 任期 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- (4) とちぎコープ生活協同組合理事（継続）  
安藤正知 理事長 任期 令和4年6月11日～令和6年6月10日
- (5) 宇都宮市ブランド推進協議会（継続）  
岩井俊宗 理事 任期定めなし 令和3年4月1日～
- (6) 宇都宮市行政経営懇談会（継続）  
岩井俊宗 理事 任期 令和5年3月1日～令和6年3月31日
- (7) 栃木県行政改革推進委員会（継続）  
安藤正知 理事長 任期 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- (8) 宇都宮市男女共同参画審議会（継続）  
土崎雄祐 常務理事 任期 令和3年7月1日～令和5年6月30日
- (9) 中央ろうきん助成制度“カナエルチカラ”2021（継続）  
特定非営利活動法人宇都宮まちづくり市民工房（協力団体）

## III. 市民工房の組織運営

### III-1. 会員数

2023（令和5）年3月31日現在 個人正会員 37名、団体正会員 3団体  
個人賛助会員 10名、団体賛助会員 6団体

### III-2. 認定 NPO 法人

第2期 2018年10月9日から2023年10月8日まで

### III-3. 理事会の開催

- (1) 2022年度第1回（通算第88回）理事会
  - ・日 時：4月20日（水）18:30～20:15
  - ・場 所：宇都宮市まちづくりセンター＋Web 会議システム
  - ・議 題：2022年度通常総会上程議案の審議
  - ・出席者：10名



(2) 2022 年度第 2 回 (第 89 回) 理事会

- ・ 日 時：10 月 26 日 (水) 18:30～20:00
- ・ 場 所：宇都宮市まちづくりセンター+Web 会議システム
- ・ 議 題：2022 年度上半期事業報告及び下半期事業進捗
- ・ 出席者：10 名

(3) 2022 年度第 3 回 (第 90 回) 理事会

- ・ 日 時：2023 年 3 月 3 日 (金) 18:00～19:00
- ・ 場 所：宇都宮市まちづくりセンター+Web 会議システム
- ・ 議 題：2022 年度事業進捗／2023 年度通常総会上程議案の提案
- ・ 出席者：10 名

### III-4. 2022 年度通常総会 (第 18 回) の開催

- ・ 日 時：5 月 26 日 (木) 18:30～20:00
- ・ 場 所：宇都宮市まちづくりセンター 2F 研修室 AB+Web 会議システム
- ・ 議 題：2021 (令和 3) 年度事業報告および決算報告／監査報告／2022 (令和 4) 年度事業計画 (案) および予算 (案) の審議ならびに承認について／登記申請書類の字句の修正の委任について
- ・ 出席者：個人正会員 36 名、団体正会員 4 団体中  
出席者 34 名・団体 (うちオンライン出席 4 名、委任 25 名・団体)

## V. 参考資料

### V-1. 会員数と寄付者の推移

#### ★会員：

|          |       |          |      |        |          |      |
|----------|-------|----------|------|--------|----------|------|
| 2013 年度末 | <正会員> | 個人 44 人、 | 団体 6 | <賛助会員> | 個人 5 人   |      |
| 2014 年度末 | <正会員> | 個人 43 人、 | 団体 6 | <賛助会員> | 個人 5 人、  | 団体 4 |
| 2015 年度末 | <正会員> | 個人 39 人、 | 団体 6 | <賛助会員> | 個人 6 人、  | 団体 4 |
| 2016 年度末 | <正会員> | 個人 36 人、 | 団体 5 | <賛助会員> | 個人 7 人、  | 団体 5 |
| 2017 年度末 | <正会員> | 個人 41 人、 | 団体 6 | <賛助会員> | 個人 7 人、  | 団体 5 |
| 2018 年度末 | <正会員> | 個人 41 人、 | 団体 6 | <賛助会員> | 個人 7 人、  | 団体 5 |
| 2019 年度末 | <正会員> | 個人 40 人、 | 団体 5 | <賛助会員> | 個人 10 人、 | 団体 6 |
| 2020 年度末 | <正会員> | 個人 35 人、 | 団体 4 | <賛助会員> | 個人 14 人、 | 団体 6 |
| 2021 年度末 | <正会員> | 個人 36 人、 | 団体 4 | <賛助会員> | 個人 11 人、 | 団体 5 |
| 2022 年度末 | <正会員> | 個人 37 人、 | 団体 3 | <賛助会員> | 個人 10 人、 | 団体 6 |

表-報V-1. 受け取り寄付額と寄付者数の推移（前受寄付金計上前）

|                             | 2018 年度   | 2019 年度   | 2020 年度   | 2021 年度   | 2022 年度   |
|-----------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                             | 実績        | 実績        | 実績        | 実績        | 実績        |
| 寄付額（賛助込み）                   | 199,186 円 | 320,374 円 | 376,508 円 | 587,050 円 | 616,500 円 |
| 寄付者総数（賛助込み）                 | 37 人・団体   | 29 人・団体   | 32 人・団体   | 26 人・団体   | 18 人・団体   |
| うち 3,000 円以上* <sup>1)</sup> | 22 人・団体   | 20 人・団体   | 23 人・団体   | 19 人・団体   | 13 人・団体   |
| 寄 付 内 訳                     |           |           |           |           |           |
| ①一般寄付                       | 216,688 円 | 78,016 円  | 266,374 円 | 317,000 円 | 581,500 円 |
| ②三依プロジェクト                   | 88,100 円  | 82,170 円  |           | 4,508 円   |           |
| ③ひろのカフェ                     |           |           |           |           |           |
| ④子ども食堂                      |           |           |           |           |           |
| ⑤地域福祉                       |           |           |           |           |           |
| ⑥水害復興                       |           |           | 5,000 円   |           |           |
| ⑥賛助会員                       | 53,000 円  | 39,000 円  | 49,000 円  | 55,000 円  | 55,000 円  |
| 賛助会員数* <sup>2)</sup>        | 13 人・団体   | 8 人・団体    | 13 人・団体   | 16 人・団体   | 10 人・団体   |

\* 1) 賛助込み、ただし理事を除く      \* 2) 会費支払者数

表-報V-2. センター運営以外の事業内訳推移 助成金事業 下線は委託事業

| 2006 (H18) 年度                 | 2007 (H19) 年度              | 2008 (H20) 年度              |
|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 栃木県委託事業<br>団塊の世代の調査研究         | 栃木県委託事業<br>これからまちづくり大学     | 栃木県委託事業<br>これからまちづくり大学     |
| 栃木県委託事業<br>NPO・ボランティア理解促進講座   | 栃木県委託事業<br>地域の実情と課題を探る     | トヨタウッドユーホーム株式会社<br>みずほの緑の郷 |
|                               | 協働コーディネーター講座               | 中央ろうきん助成<br>姿川地区の将来ビジョン    |
|                               | 厚生労働省委託事業<br>特別な休暇制度普及促進事業 | 国土交通省委託事業<br>三依交流プロジェクト    |
|                               |                            | 協働コーディネーター講座               |
| 2009 (H21) 年度                 | 2010 (H22) 年度              | 2011 (H23) 年度              |
| 栃木県委託事業<br>これからまちづくり大学        | 独立行政法人福祉医療機構<br>地域の担い手育成   | 栃木県委託事業<br>地域支え合い体制づくり     |
| トヨタウッドユーホーム株式会社<br>みずほの緑の郷    | トヨタウッドユーホーム株式会社<br>みずほの緑の郷 | 協働コーディネーター講座               |
| 国土交通省委託事業<br>三依交流プロジェクト       | JT 青少年の育成に関する助成「秘密基地」      | 三依交流プロジェクト                 |
| 全国商店街支援センター<br>起業研修事業         | 協働コーディネーター講座               | 震災復興支援活動                   |
| 協働コーディネーター講座                  | 三依交流プロジェクト                 |                            |
| ダイバーシティ研究所委託事業<br>CSR 大賞・セミナー |                            |                            |
| 2012 (H24) 年度                 | 2013 (H25) 年度              | 2014 (H26) 年度              |
| 栃木県地域版プラットフォーム事業<br>(市民研究員事業) | 三依交流プロジェクト<br>財源：売上と寄付     | 三依交流プロジェクト<br>財源：売上と寄付     |
| 栃木県地域版プラットフォーム事業<br>(環境共生)    | 震災復興支援事業<br>財源：寄付、補助金      | ひろのカフェ in 関船<br>財源：寄付、補助金  |
| 三依交流プロジェクト<br>財源：売上と寄付        | 市民研究員事業<br>財源：なし           | 共助社会研究会<br>財源：委託費          |
| 震災復興支援事業<br>財源：寄付、補助金         | CB 起業講座<br>財源：参加費          | CB 起業講座<br>財源：委託費          |
| 空き家再生プロジェクト                   | 空き家再生プロジェクト<br>⇒LLP 設立へ    | NPO 法人事務力検定セミナー<br>財源：委託費  |

表-報V-2. センター運営以外の事業内訳推移（2）

| 2015（H27）年度                 | 2016（H28）年度                 | 2017（H29）年度                          |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 三依交流プロジェクト<br>財源：売り上げと寄付    | 三依交流プロジェクト<br>財源：売り上げと寄付    | 三依交流プロジェクト<br>財源：売り上げと寄付             |
| ひろのカフェ in 関船<br>財源：寄付       | 共助社会研究会<br>財源：寄付            | 共助社会研究会<br>財源：寄付と助成金<br>(トヨタ財団調べる助成) |
| 共助社会研究会<br>財源：寄付、補助金        | CB 起業講座<br>財源：委託費           | CB 起業講座<br>財源：委託費                    |
| CB 起業講座<br>財源：委託費           |                             | コミュニティボランティア<br>体験事業 財源：委託費          |
| 2018（H30）年度                 | 2019（R元）年度                  | 2020（R2）年度                           |
| 三依交流プロジェクト<br>財源：売り上げと寄付    | 三依交流プロジェクト<br>財源：売り上げと寄付    | 農村ファン活躍支援モデル<br>財源：委託費（栃木県）          |
| NPO の組織基盤強化<br>財源：助成金、事業収入  | NPO の組織基盤強化<br>財源：事業収入      | NPO の組織基盤強化<br>財源：事業収入               |
| 中間支援センター視察<br>財源：自主事業       | 共助社会研究会（サロン）<br>財源：事業収入     | 共助社会研究会（講座）<br>財源：助成金、事業収入           |
|                             | 水害復興支援<br>財源：助成金            | 三依交流プロジェクト<br>財源：売り上げと寄付             |
| 2021（R3）年度                  | 2022（R4）年度                  | 2023（R5）年度                           |
| 農村ファン活躍支援モデル<br>財源：委託費（栃木県） | 農村ファン活躍支援モデル<br>財源：委託費（栃木県） |                                      |
| NPO の組織基盤強化<br>財源：助成金、事業収入  | NPO の組織基盤強化<br>財源：助成金、事業収入  |                                      |
| 共助社会研究会<br>財源：助成金、事業収入      | 共助社会研究会<br>財源：助成金、事業収入      |                                      |
| 三依交流プロジェクト<br>財源：売り上げと寄付    | 三依交流プロジェクト<br>財源：売り上げと寄付    |                                      |



表-報V-3. 収入内訳

\* 1 : 2011 年度以降、賛助会員費は寄付として計算。

| 宇都宮サポセン   | 2006 (H18) 年度 |       | 2007 (H19) 年度 |       | 2008 (H20) 年度 |       |
|-----------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|
| センター委託費   | 12,128,550    | 92.9% | 12,908,700    | 87.2% | 13,628,000    | 70.2% |
| その他の事業収入  | 878,200       | 6.7%  | 1,731,436     | 11.7% | 5,603,700     | 28.9% |
| 会費        | 33,000        | 0.3%  | 81,000        | 0.5%  | 89,000        | 0.5%  |
| 寄付        | 3,800         | 0.0%  | 83,392        | 0.6%  | 92,940        | 0.5%  |
| 雑収入       | 13,233        | 0.1%  | 1,682         | 0.1%  | 1,938         | 0.0%  |
| 合計        | 13,056,783    |       | 14,806,210    |       | 19,415,578    |       |
| 宇都宮サポセン   | 2009 (H21) 年度 |       | 2010 (H22) 年度 |       | 2011 (H23) 年度 |       |
| センター委託費   | 15,015,719    | 65.1% | 15,015,000    | 76.9% | 16,743,400    | 89.0% |
| その他の事業収入  | 6,475,677     | 28.1% | 3,348,098     | 17.2% | 1,230,032     | 6.6%  |
| 会費        | 90,000        | 0.4%  | 110,000       | 0.6%  | 93,000        | 0.7%  |
| 寄付        | 1,108,671     | 4.9%  | 992,841       | 5.1%  | 712,646       | 3.5%  |
| 雑収入       | 390,430       | 1.7%  | 51,372        | 0.2%  | 32,966        | 0.1%  |
| 合計        | 23,080,497    |       | 19,517,311    |       | 18,812,044    |       |
| まちぴあ      | 2012 (H24) 年度 |       | 2013 (H25) 年度 |       | 2014 (H26) 年度 |       |
| センター指定管理費 | 24,000,000    | 86.9% | 24,300,000    | 95.4% | 25,405,714    | 95.5% |
| その他の事業収入  | 2,951,639     | 10.7% | 532,826       | 2.1%  | 588,297       | 2.2%  |
| 会費        | 150,000       | 0.7%  | 113,000       | 0.5%  | 124,000       | 0.5%  |
| 寄付*1      | 429,629       | 1.4%  | 479,328       | 1.8%  | 486,799       | 1.8%  |
| 雑収入       | 96,070        | 0.3%  | 56,230        | 0.2%  | 1,217         | 0.0%  |
| 合計        | 27,627,438    |       | 25,481,381    |       | 26,606,027    |       |
| まちぴあ      | 2015 (H27) 年度 |       | 2016 (H28) 年度 |       | 2017 (H29) 年度 |       |
| センター指定管理費 | 27,344,860    | 94.5% | 27,350,000    | 97.1% | 27,830,000    | 92.6% |
| その他の事業収入  | 701,002       | 2.4%  | 422,216       | 1.5%  | 1,744,191     | 5.8%  |
| 会費        | 140,000       | 0.5%  | 113,000       | 0.4%  | 133,000       | 0.4%  |
| 寄付*1      | 715,231       | 2.5%  | 269,878       | 1.0%  | 357,788       | 1.2%  |
| 雑収入       | 937           | 0.0%  | 48            | 0.0%  | 41            | 0.0%  |
| 合計        | 28,902,030    |       | 28,155,142    |       | 30,065,020    |       |
| まちぴあ      | 2018 (H30) 年度 |       | 2019 (R 元) 年度 |       | 2020 (R2) 年度  |       |
| センター指定管理費 | 27,379,458    | 98.0% | 28,038,862    | 97.2% | 29,100,000    | 91.9% |
| その他の事業収入  | 253,157       | 0.9%  | 372,687       | 1.3%  | 2,070,736     | 6.5%  |
| 会費        | 102,000       | 0.4%  | 121,000       | 0.4%  | 114,000       | 0.4%  |
| 寄付*1      | 209,186       | 0.7%  | 320,374       | 1.1%  | 376,508       | 1.2%  |
| 雑収入       | 42            | 0.0%  | 43            | 0.0%  | 73            | 0.0%  |
| 合計        | 27,943,843    |       | 28,852,966    |       | 31,661,317    |       |

| まちぴあ      | 2021 (R3) 年度 |       | 2022 (R4) 年度 |       | 2023 (R5) 年度 |  |
|-----------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|--|
| センター指定管理費 | 29,100,000   | 86.1% | 29,100,000   | 82.8% |              |  |
| その他の事業収入  | 4,006,412    | 11.8% | 5,278,368    | 15.2% |              |  |
| 会費        | 93,000       | 0.3%  | 118,000      | 0.3%  |              |  |
| 寄付＊1      | 587,050      | 1.7%  | 616,500      | 1.8%  |              |  |
| 雑収入       | 25,571       | 0.0%  | 9,486        | 0.0%  |              |  |
| 合計        | 33,812,033   |       | 35,122,354   |       |              |  |